

1 計画策定の趣旨

日本の少子高齢化と人口減少は急速に進展しており、団塊の世代が75歳以上となる2025(令和7)年からは、さらに高齢化が加速することが見込まれています。

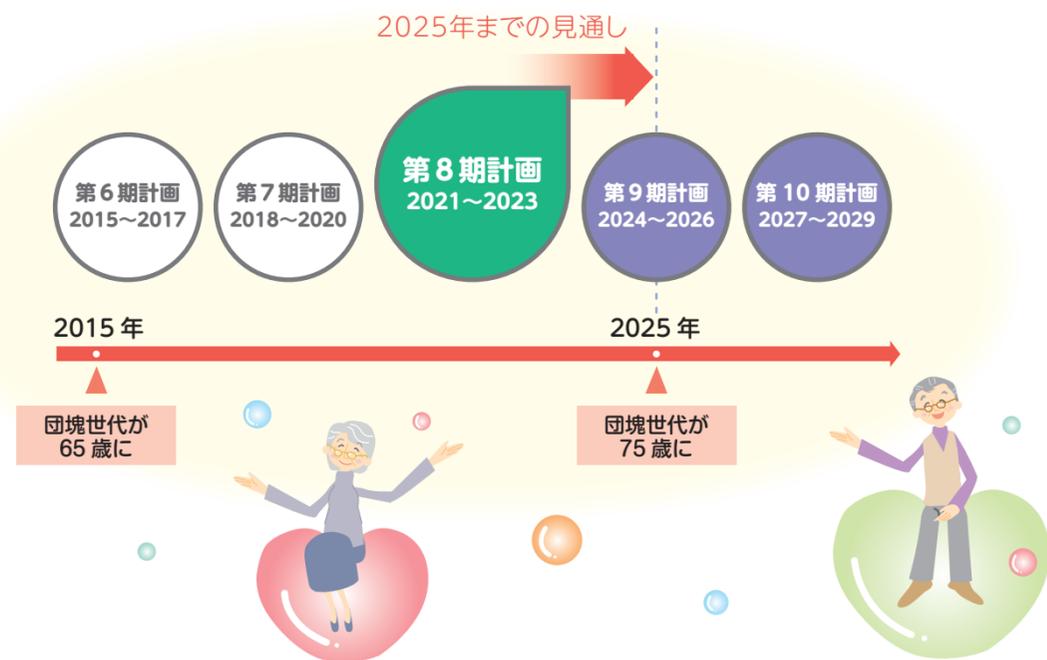
本町においても総人口・現役世代人口が減少し、介護ニーズの高い85歳以上の人口が増加することが見込まれる中、今後、認知症高齢者の増加が予想され、介護サービスへの期待はさらに高まると考えられます。

支え手となる世代が減少することで、介護サービスだけで高齢者を支えることは難しくなっていくと考えられます。そのため、これまでの取組を継承しながら高齢者福祉施策を総合的に推進していく必要があります。高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう、関係機関や地域住民と連携・協力し、支援体制の確保や地域支援事業の実施を計画的に展開していくため「山元町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定しました。



2 計画期間

第8期計画は、2021(令和3)年度から2023(令和5)年度までの3か年を計画期間とし、2025(令和7)年及び2040(令和22)年の将来像を見据えた計画となります。

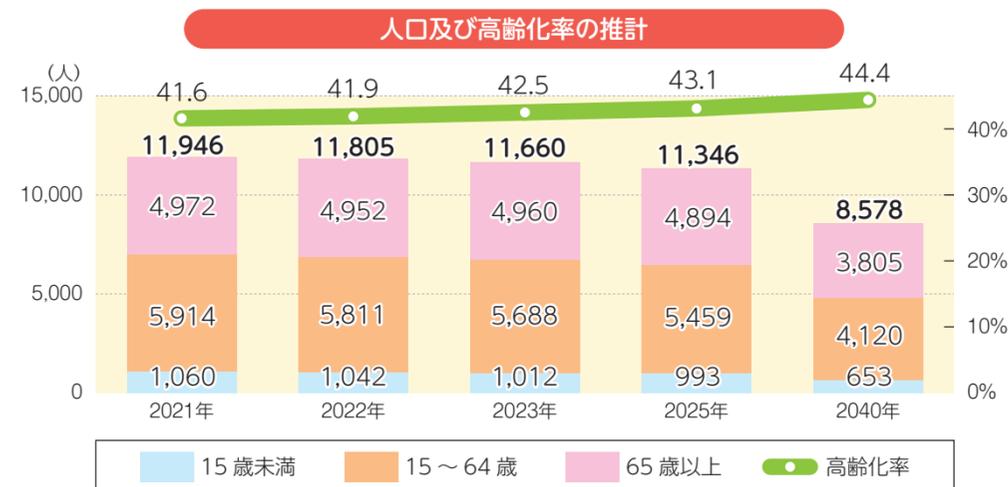


3 高齢者人口等の見通しと将来像

1 人口推計

人口減少傾向は今後も続き、総人口は2023(令和5)年に11,660人、2025(令和7)年は11,346人になると推計されます。

65歳以上の高齢者数も減少傾向にありますが、2021(令和3)年の4,972人から、2023(令和5)年に4,960人と減少数はわずかです。一方で、65歳以下の人口減少数が多く、高齢化率は2025(令和7)年には43.1%となる見込みです。



2 前期・後期高齢者人口の推計

前期・後期高齢者人口の推計をみると、前期高齢者は2021(令和3)年の2,465人から2025(令和7)年は1,974人と491人の減少。一方で、後期高齢者は2021(令和3)年の2,507人から2025(令和7)年は2,920人と413人増加する見込みです。

